


## 大阪大学 2021 理系第4問

整数  $a, b, c$  に関する次の条件 (\*) を考える。

$$\int_a^c (x^2 + bx)dx = \int_b^c (x^2 + ax)dx \dots\dots (*)$$

(1) 整数  $a, b, c$  が (\*) および  $a \neq b$  を満たすとき、 $c$  は 3 の倍数であることを示せ。

(2)  $c = 3600$  のとき、(\*) および  $a < b$  を満たす整数の組  $(a, b)$  の個数を求めよ。

動画や公式を検索しやすいアプリ **okke** 

$$\int_a^c (x^2 + bx) dx = \int_b^c (x^2 + ax) dx \quad \dots (*)$$

→ 計算せず、図形的に考察できるか？  
 ムズ"かかった。(前回の初見動画を参照)  
 → とりあえず計算

(1)  
 (\*) の左辺 =  $\left[ \frac{1}{3}x^3 + \frac{1}{2}bx^2 \right]_a^c$

$$= \frac{1}{3}(c^3 - a^3) + \frac{1}{2}b(c^2 - a^2)$$

(\*) の右辺 =  $\frac{1}{3}(c^3 - b^3) + \frac{1}{2}a(c^2 - b^2)$

★ 左辺の  $a$  を  $b$  に、 $b$  を  $a$  に  
 変えて、処理の時短

となるので、

$$\frac{1}{3}(c^3 - a^3) + \frac{1}{2}b(c^2 - a^2) = \frac{1}{3}(c^3 - b^3) + \frac{1}{2}a(c^2 - b^2)$$

$$2(a^3 - b^3) + 3c^2(a - b) + 3ab(a - b) = 0$$

$$(a - b) \left( \underline{2(a^2 + ab + b^2) + 3c^2 + 3ab} \right) = 0$$

展開するかの試行錯誤は  
 前回の初見動画で、

$$\rightarrow 2a^2 + 5ab + 2b^2 + 3c^2$$

$a \neq b$  の時、

$$2a^2 + 5ab + 2b^2 + \overset{\text{3の倍数}}{3c^2} = 0 \quad \dots \textcircled{1} \text{ を得る。}$$

$\textcircled{2}$

これが (\*) と同値。

どうやって  $c$  が 3 の倍数を示すか？

$c^2$  が 3 の倍数になってくれるといい

( $c^2$  が 3 の倍数  $\Leftrightarrow c$  が 3 の倍数)

→  $2a^2 + 5ab + 2b^2$  が 9 の倍数である  
 ことを示す作戦。

そもそも、 $2a^2 + 5ab + 2b^2$ は3の倍数であることが必要。考え方の①としては、 $a$ と $b$ を3で割った余りで場合分けして、②が3の倍数となる組について、9の倍数にもなることを示す。

ただ、9通りあるので「ムズク」とい。  
(本番は、これぐらいの気合は大事。前回はこれで解いています)  
→ ここでは「しうまい」方法を。

整数問題の絞り込み方

- ① 余りによる分類
- ② 不等式による評価
- ③ 積の形に整理

$$\textcircled{2} = (2a+b)(a+2b) \text{ であり}$$

「余りによる場合分け」ではなく「積の形」にできることに着目。

①よりこれは3の倍数なので、 $2a+b$ 又は $a+2b$ は3の倍数。さらに、

$$(2a+b) + (a+2b) = 3a+3b = 3(a+b)$$

より足して3の倍数となるので、 $2a+b$ も $a+2b$ も3の倍数となる。

このとき、 $(2a+b)(a+2b)$ は9の倍数。↑

よって①より $c^2$ は3の倍数となり、 $c$ は3の倍数であることが示される。▣

※ ラストは時間があれば"万全を期して証明しよう."

$$C = 3k \pm 1 \quad (k \in \mathbb{Z}) \text{ のとき}$$

$$C^2 = 9k^2 \pm 6k + 1$$

$$= 3(3k^2 \pm 2k) + 1 \quad \text{となるので、}$$

「 $C$ が3の倍数でない  $\Rightarrow C^2$ は3の倍数でない」

が成り立つ。よって対偶である

「 $C^2$ が3の倍数  $\Rightarrow C$ は3の倍数」  
は示される。

(2) ①より、

$$(2a+b)(a+2b) = -3C^2 \quad \dots \text{③}$$

↑  
積の形に  
整理したくなる

← "大きい数なので、  
素因数分解しかな"

$$C = 3600 = 2^4 \cdot 3^2 \cdot 5^2 \text{ より}$$

③は

$$(2a+b)(a+2b) = -2^8 \cdot 3^5 \cdot 5^4 \quad \dots \text{④}$$

となる。  $\swarrow$  割り振る

ここから、 $(2a+b, a+2b)$ の組を考えた"が"  
整数  $(a, b)$ の組の数と一致するのか?

まずは条件を満たす $(2a+b, a+2b)$ の組  
から考える。条件は、④と  $a, b \in \mathbb{Z}$  と  $a < b$   
まずはこれを満たすか。

$$a < b \Leftrightarrow 2a+b < a+2b \text{ であり、}$$

④より  $2a+b$  と  $a+2b$  は異符号なので、  
 $2a+b < 0$  かつ  $a+2b > 0$  である。

$\rightarrow$  これで " $a < b$  は満たされる! 次に、  
④で素因数を割り振ったときに、  
 $a, b \in \mathbb{Z}$  が存在するか?

実験すると、

$$\begin{cases} 2a+b = -2^8 \\ a+2b = 3^5 \cdot 5^4 \end{cases} \text{ とすると、}$$

両辺足して  $3(a+b) = (\text{3の倍数でない数})$   
よって不適

→ 足して3の倍数となることが必要。

→ 必ずどちらかは3の倍数となるので  
どちらも3の倍数ということ

$$(2a+b) + (a+2b) = 3(a+b) \text{ となり、}$$

足すと3の倍数となる。よって④より

$2a+b$  と  $a+2b$  はどちらも  
3の倍数となることが必要。

→ 3は17以上す→割り振られる

逆に、 $2a+b$  と  $a+2b$  がどちらも  
3の倍数であるとき、

$a+b$  は整数になり、

$$\begin{cases} (2a+b) - (a+b) = a & \text{--- ⑤} \\ (a+2b) - (a+b) = b \end{cases} \text{ はどちらも整数}$$

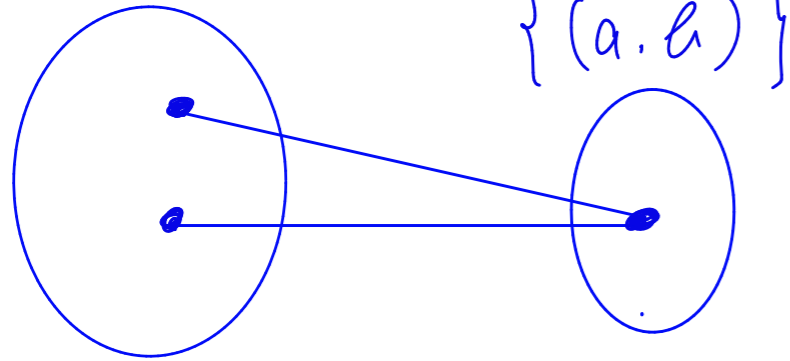
となるので、整数の組  $(a, b)$  は  
存在する。↑

条件を満たす  $(2a+b, a+2b)$  の組は  
これで求められる。が...

また、 $(2a+b, a+2b)$  と  $(a, b)$  が  
1対1対応であるかわからない。

違う  $(2a+b, a+2b)$  の組から同じ  $(a, b)$   
が出てきたら、組の数が異なってる!!

$\{(2a+b, a+2b)\}$



が有りうる?

さらに、⑤の2式より、異なる  $(2a+b, a+2b)$  から同じ  $(a, b)$  の組が出てくることは ない。

よって、④かつ

- $2a+b < 0$  かつ  $a+2b > 0$
- どちらも3の倍数

を満たす  $(2a+b, a+2b)$  の組の数と  
求める  $(a, b)$  の組の数は一致する。

④において、素因数2の分配が9通り、  
( $(0, 8)$  から  $(8, 0)$  までOK)  
素因数3が4通り ( $(1, 4) \sim (4, 1)$ )、  
素因数5が5通りあるので、  
求める組の数は

$$9 \times 4 \times 5 = \underline{180} \text{ // } \text{となる。}$$